

宇都宮民報

発行 日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
634-8722



安保法制(戦争法)廃止！9条守れ！ 宇都宮市民の会 設立総会・記念講演

会場いっぱいの120名を超える参加者

今年2月19日の宣伝から事実上スタートし、党派も立場も越えて共同を広げてきた「安保法制(戦争法)廃止！9条守れ！宇都宮市民の会」が、総会を行い名実ともに正式に設立が確認されました。



署名やレッドアクション取り組んできた新婦人の皆さんとガンパローコール



清水奈名子 宇都宮大学准教授が記念講演

「安保法制」について 誰と何を話しますか？

講演する清水奈名子氏
第1部では、「『安保法制』について誰と何を話しますか？」と題し、宇都宮大学国際学部の新清水奈名子准教授が記念講演を行います。

総会が行われた4月29日は、ゴールデンウィークの初日にもかかわらず、会場の宇都宮市総合コミュニケーションセンターのホールは参加者であふれ、この問題に対する関心の高さが伺えました。

清水准教授は、大学教授らで安保法制への抗議を呼びかけた16人の呼びかけ人の1人。賛同人は、元学長ら110名に達しています。



たのべたかお氏

講演の中で清水氏は、安保法制自体が複雑で、国会審議の中でも説明不足の点が多いために、わかりにくい。政治的な話を避ける風潮の中で、立場や意見の異なる人とのように話していくのが、自身の経験も引きながら解明しました。



石田弘太郎氏

第2部の設立総会では、会の代表に弁護士石田弘太郎氏を選出し、規約、設立宣言を採択しました。

代表に弁護士の石田弘太郎氏を選出したのべ氏があいさつ
第2部設立総会

その中で、「まずは、相手の考えを尊重しながら聞いてみる。自分たちにとって『痛い』議論も避けて、勉強を続けて議論してみる。信頼される大人になること、相手に良い印象を与えることも大切。おしゃべりは相手への敬意でもある」など、新鮮で具体的な提案もされました。

ぜひご参加ください

「市民の会」統一宣伝行動
5月19日(木)16時~17時
東武駅北口

チームたのべたかお 総決起集会
5月22日(日)15時~ 無料
栃木県教育会館大ホール

街頭宣伝の権利学習会
主催 国民救援会
5月28日(土)参加費無料
栃木県弁護士会館4階ホール

D3パレード
5月29日(日)午後1時~
宇都宮城址公園集合

集会では、「憲法9条は日本の宝・世界の宝」と題して龍谷大学名誉教授の元山健さんが講演。元山氏は、「自民党の改憲草案は、『戦争放棄』を放棄した。また、国民の権利及び義務では、近代法に特有の概念である『個人』を『人』と置き換え、人間の自立の精神を冒瀆している。これは、歴史に対する冒瀆でもある」と、厳しく批判しました。

第2部では、各政党や団体からのスピーチや、参院選栃木選挙区予定候補(野党統一)のたのべたかおさんもあいさつをしました。



挨拶する県民ネットワーク事務局長の中田徹歩弁護士(左)と野党統一の各政党代表、たのべ氏、D3の皆さん

戦争法廃止と立憲主義の回復を求めるネットワーク 栃木県民集会ひらく

JCHOうつのみや病院 (旧社会保険病院)

(ジェイコー)



写真 JCHOうつのみや病院のホームページより

譲渡ばなしが急浮上!!

当事者 まったく「その気なし」なのに？



説明をきいた住民は「今どきのご時世でもかかる病院はいつたいあるのか?『中山会』の説明は、まるで札束にものを言わせるかの様に、バラ色の病院づくりを描いて見せたが、住民に寄り添って地道に地域医療を進めようとする姿は感じられなかった」としています。

地域住民は困惑

しかし、当事者である(JCHO)うつのみや病院には全くその気はなく、このような説明会のあり方に疑問の声も上がっています。

5月9日、市要請のもと、雀宮地域の自治会連合会が主催する説明会が開催され、厚生労働省が所管する「独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)うつのみや病院」に対して、社会医療法人「中山会」うつのみや記念病院が譲り受けを望んでいることがわかりました。

昭和21年から70年の歴史と実績

(JCHO)うつのみや病院は、戦後「健康保険雀宮病院」として発足。昭和53年に宇都宮社会保険病院に名称変更。昭和58年には、栃木県の二次救急病院に指定される。宇都宮市内では国立

栃木病院、済生会宇都宮病院との三力所。平成26年に社会保険庁が解体され、現在の名称となりました。病床数は251。診療科目は18。老人保健施設や市から委託の地域包括支援センターを運営しています。

平成27年度の決算速報値では約1千万円の経常赤字となっています。(JCHO)は、全国で57の病院のほか、介護老人保健施設などを運営するネットワークで結ばれています。

(JCHO)うつのみや病院は、戦後20年の歴史と実績のもと、地域の関係者との良好な関係、公的病院グループとしての利点を生かし、地域のみな様のご意見を踏まえ、地域で求められる医療・介護を提供してゆくとし

ています。住民の声聞くならもっときちんと正しい情報を

この問題で、市南部地域に住む日本共産党の荒川つねお議員は「社会保険庁の解体で社会保険病院の存続が危ういとされた時には住民の生命と健康を守るために、社会保険病院の存続を求める運動を行ってきたことを思い出します。宇都宮市には市立病院はありません。雀宮地域にとどまらず、市南部はもちろん、市全体の公的病院としての貴重な存在です。民間病院との違いは歴然としています。住民の医療・介護要求に基づいた(JCHO)うつのみや病院のさらなる拡充に向けて宇都宮市や医療関係団体・市民が力をあわせることこそ、今求められていると思います」と語りました。



野党統一の勝利で

平和とくらしを守るついで

第87回栃木県メーデー

第87回栃木県メーデーは市内オリオンスクエアで開かれ、約350人が参加しました。阿波長次県労連議長は、明文改憲を明言する安倍政権を厳しく批判し、「国民が立ち上がり、たたかつなら政治の流れを変えることができる。野党勝利に向けて全力を上げよう」と呼びかけました。

日本共産党からは、小池一徳参院比例予定候補、県・市町議がそろって登壇。小池氏は「暴走政治に対決し、人間らしく働ける雇用のルール確立に全力をあげる」と連帯の挨拶。塩川鉄也・梅村さえ子両衆院議員、紙智子参院議員、おくだ智子参院予定候補の連名メッセージが

紹介されました。初参加のパート労働者の女性(36)は、「賃金を上げず、物価や税金を上げる苦しみの『連鎖』を止めてほしい」と話しました。栃木県の参院選栃木県選挙区野党統一のたのべたかお氏も力強い連帯の挨拶を行い、デモ行進の先頭を歩みました。

日本共産党の小池氏、野村せつ子県議、荒川つねお・福田くみ子両市議は、デモ行進解散地点の東武北口で街頭演説、メーデー参加者に激励と連帯のメッセージを送りました。



メーデー参加者に激励と連帯のメッセージを送る小池一徳参院比例予定候補と野村せつ子県議、荒川つねお。福田くみ子両市議

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅道路・交通安全・その他なんでも・・・

日時 5月14日(土) 6月11日(土) 午後2時~4時

会場 宇都宮市コミュニティセンター

連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)

土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。秘密厳守します。弁護士が協力します。